# 未来の自分のために健康づくりを

~健康づくりの主役はあなた~











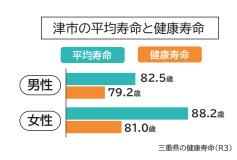


### 健康寿命を延ばして、健康でいきいきと暮らそう

健康寿命は、「介護を受けたり病気で寝たきりにならず、 自立して健康に生活できる期間のこと」です。

健康寿命には、さまざまなことが影響します。介護が必要 となる原因である生活習慣病もそのひとつです。

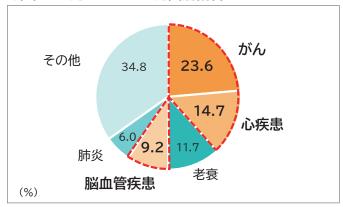
生活習慣を改善し、毎日を健康に過ごして、健康寿命を延ばしましょう。



## 津市のみなさんの健康の様子や意識

### ■ 生活習慣病による死亡が約半数

#### 津市の全死亡における死因別割合



三重県の人口動態(R3)

### 生活習慣病予防を意識して 健康づくりに取り組もう

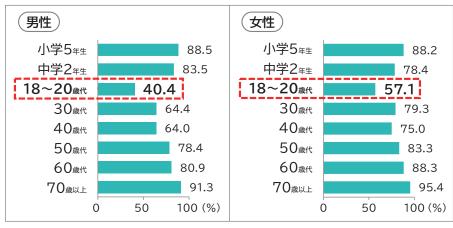
#### 生活習慣病

食生活や運動、休養、喫煙、飲酒等の生活習慣と深く関係する病気のこと

がん、心疾患、脳血管疾患、糖尿病、 COPD(慢性閉塞性肺疾患)等

### ■ 朝ごはんを毎日食べている人は18~20歳代に少ない

#### 朝ごはんを毎日食べている人の割合



計画策定アンケート(R4)

### 「早寝・早起き・朝ごはん」

子どもの頃から、 毎日朝ごはんを食べる 習慣を身につけよう



### ■ 意識して体を動かしている人は18~40歳代の女性で半数以下

#### 意識して体を動かしている人の割合

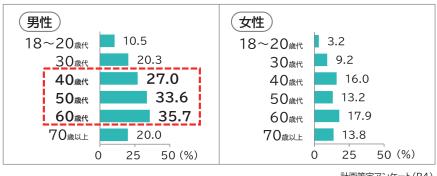


計画策定アンケート(R4)

仕事、家事、育児で 忙しい人も、 日常生活の中で体を 動かす機会を見つけよう

### 肥満の人は40~60歳代の男性に多い

#### 肥満者の割合



計画策定アンケート(R4)

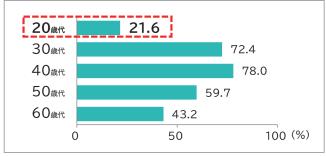
運動習慣や食生活を 見直してみよう

週1回以上 体重をはかろう



### ■ 子宮がん検診を受けた20歳代の女性は約2割

#### 過去2年間に子宮がん検診を受診した女性の割合



計画策定アンケート(R4)

### 20歳以上の女性は、 定期的に子宮頸がん検診を受診しよう

#### 子宮頸がん

ヒトパピローマウイルス(HPV)の感染が主な原因となる子宮 の入り口にできるがんのこと

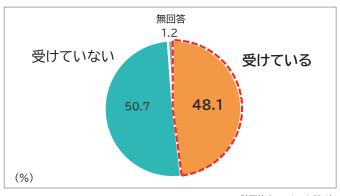
子宮がんには、「子宮頸がん」と「子宮体がん」があり、原因も発症のメカニズム も全く異なる



子宮頸がんの罹患者数は20歳代から増え40歳代がピークとなります 感染予防のための HPVワクチンの接種と、 早期発見のための子宮頸がん検診の受診 が大切です

### 定期的に歯科検診を 受けている人は約半数

#### 定期的に歯科検診を受診している人の割合



計画策定アンケート(R4)

### かかりつけ歯科医を持とう

#### 社会活動に参加している人は 約半数 計画策定アンケート(R4)

■ フレイルの 意味を知って いる人は約2割

計画策定アンケート(R4)

### フレイル

加齢に伴い身体の 予備能力が低下し、 健康障がいを起こ しやすくなった状 態のこと

フレイル予防のポイントは 「栄養・お口の健康」「運動」「社会参加」です

社会活動に参加して 人とのつながりをつくろう



## 『ライフステージ・分野別の行動目標 (私ができること・心がけること)』 心がけている項目に、図をしてみよう

#### 大目標 こころ豊かに楽しく元気に暮らそう ライフステージ 子育で期 妊娠期 学童期 青壮年期 高齢期 思春期 分野と分野別目標 (乳幼児期) は特に力を入れたい分野 食生活·栄養 □ 自分で朝ごはんを用意して □ 自分で朝ごはんを □主食、主菜、副菜の □ 健康状態に合わせて □ 子どもの健康を考えて □ 家族等と 1 食べます 用意して食べます そろった食事をします 朝ごはんを食べよう 朝ごはんを用意します 一緒に食べます 食べます □ 野菜を毎日食べます □ 楽しく体を 運動 □ 日常生活の中で意識的に □ 積極的に外出します 動かします 体を動かします □ 子どもと楽しく体を □ 毎日体を使って □ 適度な運動を心がけます □自分の体調や 日常生活に運動を □ 自分の体調や体力に 03 動かします □ 自分の体調や体力に 遊びます 体力に適した 適した運動を続けます 取り入れよう 適した運動を見つけます 運動を見つけます たばこ □ 子どもの目につく所に □ 喫煙者は非喫煙者に受動喫煙させません □ 喫煙しません □ 喫煙しません たばこを置きません (20歳未満の人の喫煙は法律で禁止されています) □ 喫煙が健康に及ぼす影響を理解します 受動喫煙を防ごう □ 授乳中は喫煙しません アルコール □ 自分の適正飲酒量を理解します □ 飲酒しません □ 飲酒しません □ 授乳中は飲酒しません □ 飲酒を強要しません (20歳未満の人の飲酒は法律で禁止されています) 飲酒をコントロールしよう 歯とお口の健康 □ 仕上げ磨きを毎日します □ 定期的に歯科健(検)診を受けます いつまでも自分の歯を □よく噛んで食べます □ 食後に歯磨きをします 大切にしよう 生活習慣病・がん □ 体重を调1回以上はかります □年1回健康診査を受けます □ 食事は薄味にします □ 妊婦健康診査を受け □自覚症状があれば早めに 健康的な生活習慣を □ 早寝早起き等、規則正しい生活リズムを身につけます □年1回健康診査を受けます 健康管理に努めます 医療機関を受診します 身につけよう □ 定期的にがん検診を受けます □不安や悩み等を相談します こころの健康 □ 不安や悩み等を相談します □ 不安や悩み等を相談します □ 十分な睡眠をとり休養します □ 自分や周囲の人の良いところに □ 妊娠中の不安や □ 育児中の不安や □趣味や楽しみを持ちます □ 自分なりのストレス解消法を 気付きます 悩み等を相談します 悩み等を相談します □周囲の人の表情や行動の ストレスと上手につきあおう 見つけます □ 顔を合わせたコミュニケーションを □周囲の人の表情や行動の 変化に気付き、声をかけます 図ります 変化に気付き、声をかけます 仲間づくり □ 社会活動(町内会・地域行事、ボランティア活動、スポーツやグループ活動等)に参加します 人とのつながりをつくろう □ 周囲の人にあいさつをします 感染症·熱中症 □ こまめに手を洗います □ こまめに水分をとります 感染症や熱中症を予防しよう □ 感染症や熱中症対策について正しい情報を得ます 6 災害への備え □ 非常持ち出し袋に、健康に関する必要物品(歯ブラシ・マスク等)を準備します □ 日頃から家族の健康状態を把握します 普段から自分の健康状態を知り、 □ 周囲の人と助け合える関係を作ります 災害に備えよう □ 家族と災害時に起こりやすいこころと体の変化や対処方法について話し合います □ 日頃から母子健康手帳を携帯します

4

### 毎日の生活を振り返り、楽しく続けられるような健康づくりに取り組もう

### 食生活·栄養

目標

### 朝ごはんを食べよう

### 朝ごはんは 1日の始まりの大切なスイッチです

朝ごはんを食べると、脳のエネルギー源である ブドウ糖が補給され、脳や体が目覚めます。

時間がないときでも、何か食べよう











ヨーグルト

おにぎり

食パン

## **ロンポイントアドバイス**

#### 朝ごはんを毎日食べる習慣ができたら、食事のバランスを考えよう

主食・主菜・副菜をそろえるとバランスがよくなります。



炭水化物を主成分とするエネル ギーの供給源

筋肉や血液等の体をつくるタン パク質や脂質の供給源 菜

体の調子を整えるビタミン、ミネ 菜 ラル、食物繊維の供給源

もっとチャレンジ ~果物を食べよう~

果物の1日の目安は200g

例えば・・・

みかん1個とりんご1/2個で200g

朝ごはんにも果物を準備しましょう。

### 運動

#### 目標

### 日常生活に運動を取り入れよう

運動が大切なのは分かっているけれど時間がない、何をすればいいか分からないときは、 今より1日10分多く体を動かす「+10(プラステン)」から始めてみましょう。

#### 自分にできる+10(プラステン)を見つけよう

□ 散歩をする □ ラジオ体操をする

□ 階段を使う □ 自転車で通勤する □ 掃除をする

□ ストレッチをする

チャレンジできそうな取組に、図をしてみよう

□ カートを使わずに買い物をする

□ 1駅分歩く

□ 子どもと遊ぶ



### ਊ ワンポイントアドバイス

### 日常生活でできる「ながら運動」を取り入れよう

- 歯磨きをしながら、かかとの上げ下げ
- ○ドライヤーをしながら、足踏み
- 歩くときは大股で

- テレビを見ながら、足上げ
- エレベーターを待ちながら、スクワット
- 椅子に座るときは姿勢よく



### 生活習慣病・がん



### 健康的な生活習慣を身につけよう

健康的な生活習慣を身につけるために、自分の生活習慣を知るところから始めてみましょう。

#### ■生活リズムを整えよう

規則正しい生活習慣のためには、 「早寝・早起き・朝ごはん」が大切です。 まずは早起きからチャレンジしてみませんか。







早寝

早起き

朝ごはん

#### ■適正体重を知ろう

体重をはかる習慣をつけ、自分の今の体重と適正体重を把握しておきましょう。(適正体重の計算方法は裏へ)

### ■減塩に取り組もう

減塩に取り組むことは、高血圧症や脳血管疾患等の予防につながります。 だしや香辛料等を使って、おいしく減塩しましょう。

また、食品を購入するときは、栄養成分表示を確認することも 大切です。









### √ ワンポイントアドバイス

#### 健康診査とがん検診を受けよう

年1回の健康診査と定期的ながん検診を受診しましょう。

健(検)診結果を確認し、自身の生活習慣を振り返り、必要があれば医療機関を受診しましょう。

#### Q 津市 がん検診

### ストレスと上手につきあおう

ストレスに気付き対処しましょう。

### 一人で悩まず相談する

不安や悩みをどうすればよいか分から ないときは、一人で抱え込まず、勇気を 出して相談してみましょう

◇24時間相談できるところ 相談窓口 よりそいホットライン

> つなぐ ささえる 0120-279-338

### 自分でできるストレスケア

- ゆっくりと湯船につかる
- ストレッチを行う
- ・腹式呼吸をしながら自分の呼吸に意識 を集中する 等

### 感染症対策を続けよう

感染症予防の基本は手洗いです。 こまめに手を洗いましょう。

#### 手洗いのタイミング

- ・帰宅したとき
- トイレの後
- ・料理や食事をする前
- ・登校・出社したとき
- ・咳やくしゃみ、鼻をかんだ後
- ・手が汚れたとき 等







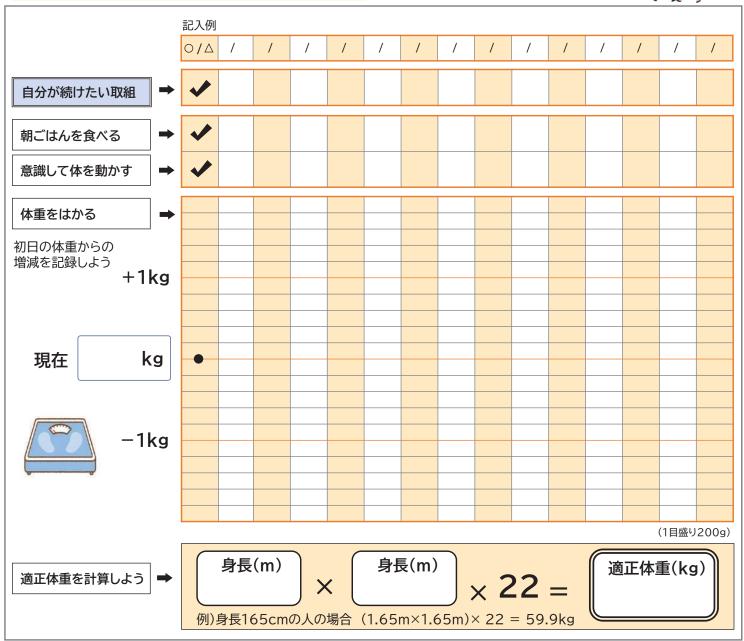
### 自分が続けたい取組を考えてみよう

例)野菜を毎日食べる/散歩をする/早起きをする等



### 自分の取組を記録してみよう





#### お問い合わせ

#### 市外局番(059)

中央保健センター 229-3164	安濃保健センター 268-5800
久居保健センター 255-8864	香良洲保健センター 292-4183
河芸保健センター 245-1212	一志保健センター 295-0112
芸濃保健センター 266-2520	白山保健センター 262-7294
美里保健センター 279-8128	美杉保健センター 272-8089

発行 三重県津市健康福祉部健康づくり課 〒514-8611 三重県津市西丸之内23番1号 TEL 059-229-3310 FAX 059-229-3346

E-mail 229-3310@city.tsu.lg.jp

津市第4次健康づくり計画